

5月31日にネイチャーおおさか ミーティングと総会を開催

文・写真

武内 亜矢(事務局)
具志堅 葉子(ビジョン委員長)



自然観察会グループでの意見を発表するインタビュアー藤本陽子さん

第一部 ネイチャーおおさかの DNAをひも解く 第2弾

文・写真 具志堅 葉子(ビジョン委員長)

総会にあわせ、一般公開の「ネイチャーおおさかミーティング」を開催しました。

1月のビジョンフォーラムでは、高田前会長より大阪自然環境保全協会の設立前夜のお話をうかがったので、今回は設立初期のお話を3グループに分かれてうかがいました。

- ① 自然観察会(インストラクター養成講座) 富川さん、後藤さん
- ② 市民調査活動(タンポポ、里山一斉) 木村さん、常俊さん
- ③ 里山維持管理活動(五月山グリーンエコー) 中川さん

インタビューの詳しい内容は次号で誌面をさいてお伝えします。

今回は、インタビューで設立当初の想いや活動内容などをうかがい、それぞれ話を聞いていた参加者間で「私たちのDNA」について話し合っ

て出た意見をキーワードにして報告とします。
フィールド好き、生物好き／科学的に正しい知識がベース／郷土の自然を守りたい／多様な価値観／1人ひとりがプレイヤー／各グループの自主自立を守る／自由・組織的でない／抵抗勢力である／社会的活動に広げたい／次世代への自然

教育がしたい／楽しむ能力を持つ／人を巻き込む力がある／こだわりと地道さ

ビジョン委員会では、2025～2026年度にかけて広く参加者を募り、ワークショップを開催してビジョンの実現に向けた道筋を検討していきたいと考えています。「ネイチャーおおさかのDNAをひも解く」ことも、もっと様々な方から話を聞き考えていく場が作れたら良いと考えています。ぜひ、ご意見をお寄せください。「ビジョン実現ワークショップ」をと

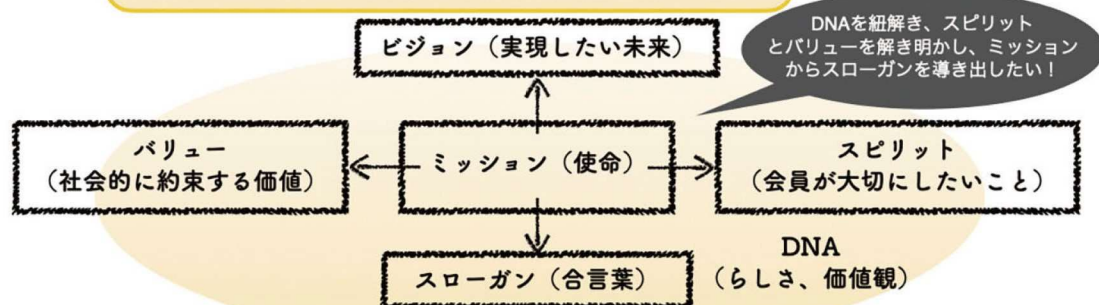
第二部 通常社員総会

文 武内 亜矢(事務局)

最初に司会の木村理事より、議長に後藤裕己会員が推薦され、参加者で承認した。正会員150名中122名(参加:18、委任状:103、議決権行使:1)の出席で、総会が成立していることを確認した。

第1号議案:2024年度事業報告の件

栗谷理事より、事業報告に基づき報告があった。「昆明・モントリオール生物多様性枠組」、「生物多様性国家戦略2023-2030」においてネイチャーポジティブ、30by30が掲げられ、当協会も関連する取り組みに積極的に参加した。また、2024年度は



2025ビジョンへの道筋模式図

当協会の新中期計画の初年度であった。「自然を豊かに」「社会を豊かに」「活動を支援する」という3つの軸に基づき、自然環境調査、人材育成、他団体・企業との連携などを行った。里山保全においては、各グループによる調査・保全活動が実施され、「夢洲の未来の自然環境を考えるプロジェクト」は、関係機関への働きかけを継続した。この件は報告事項であるため、議長から第1号議案について了承の確認がなされた。

第2号議案：

2024年度財務諸表等承認の件

木村理事より、2024年度決算報告書に基づいて説明があった。2021年度以降、経常収益は回復基調である。24年度は、「子どもゆめ基金」の利用および、マイクロソフト社・エアトランク社、いろはす基金からの里山保全活動への寄付金によって、受取補助金が増加した。当期経常増減額は約350万円の黒字だったので、このうち、200万円を50周年記念事業準備資金に積み立てた。しかし会員費、講師料、受託料は恒常的に減少しており、協会の地盤をいかに作っていくかが課題である。次いで新居監事より、事業活動及び会計処理が適正に行われたとの監査報告があった。質疑の後、後藤議長が承認を求めたところ、出席した

17名は全員賛成、それに加えて委任状提出者103名、議決権行使者1名の、計121名全員の賛成で承認可決された。

第3号議案：定款変更の件

「外部理事・外部監事の報酬に関する件」

木村理事より、「公益法人法の大規模な改訂により、理事・監事の改選時（当協会では2026年の総会時）に、外部理事・外部監事を置くこととなった。現行の定款では『理事及び監事は無報酬である』と定めている。選任にあたっては、外部理事・外部監事には報酬の支給を可能にしておくことが必要だと考えられる」と定款変更の提案があった。定款変更に関

関する第3号議案は、定款第38条により総正会員の議決権(150)の3分の2以上の100の賛成が必要であると説明があり、質疑に入ったが意見はなく、後藤議長が承認を求めたところ、出席した17名は全員賛成、それに加えて委任状提出者103名、議決権行使者1名の、計121名全員の賛成で承認可決された。

最後に夏原会長より、「自然共生サイトは世間的にも注目度が高く、2024年度は申請数が非常に多かった。協会の会員数は減少傾向であるが、様々な場所で会員は活動している。今後ともぜひ活躍してほしい」と総括があった。

正味財産増減計算書（配賦後）

2024.4.1～2025.3.31

(単位：円)

科 目	2024年度	2023年度	増減
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	3,031,000	3,220,500	△ 189,500
事 業 収 益	9,438,611	14,434,829	△ 4,996,218
受 取 補 助 金 等	15,183,209	6,407,044	8,776,165
受 取 寄 付 金	2,653,453	845,994	1,807,459
雑 収 益	24,060	77,467	△ 53,407
受 取 利 息	10,014	79	9,935
有 価 証 券 利 息	112,400	112,400	0
経 常 収 益 計	30,452,747	25,098,314	5,354,433
(2) 経常費用			
事業費	25,600,568	23,442,880	2,157,688
管理費	1,314,176	1,241,047	73,129
雑損失	49,211	86,821	△ 37,610
経常費用計	26,963,955	24,770,748	2,193,207
当期経常増減額	3,488,792	327,566	3,161,226
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
	2,000	0	2,000
(2) 経常外費用			
	2,000,000	0	2,000,000
当期経常外増減額	△ 1,998,000	0	△ 1,998,000
当期正味財産増減額	1,490,792	327,566	1,163,226